|  |
| --- |
| 情報Ⅰ　No.07メディアとコミュニケーション |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 | ２ | 組 |  | 番 |  | 名前 |  |

2024©Assumption-Kokusai

|  |
| --- |
| 第２章　コミュニケーションと情報デザイン　第1節　メディアとコミュニケーション１．情報技術の発展による生活の変化（教P66-67） |

　☞メディアの発達によりコミュニケーションはどう変化しただろう

【TRY】①インターネットやスマートフォンがなかった時代、次のことはどうやって調べていたか？

　　　　調べてみよう

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 状況 | なかった時代 | 今は |
| ・明日の天気を知りたい |  |  |
| ・映画館の上映時刻を知りたい |  |  |
| ※例を考えよう |  |  |

|  |
| --- |
| 【知識の整理】 |
| ①メディアとコミュニケーションの変遷 |
| 　・（　　　　　　　　　　）＝人と人とが意思や感情、思考を伝達しあうこと |
| 　　　　↓ |
| ・情報を伝達する（　メディア　）の発展による影響は大きい！ |
| 　　（例）インターネットの登場で　地理的・時間的な制約を超えてコミュニケーションができる |
|  |
| ②メディアの利用で生じる課題 |
| 　・情報が拡散するスピードや影響を及ぼす範囲が広い　→　炎上などの原因 |
| 　・送り手の意図が通じなかったり誤解されたりすることもある |
| 　・情報の信ぴょう性を見誤ったりする |
|  |
| ③（　　　　　　　　　） |
| 　　・メディアの特性を理解し、受け手として正しく情報を読み解く能力 |
| 　　・送り手として正確に情報を表現・発信する能力 |
| 　　・メディアの在り方を考え、自ら行動できる能力 |
|  |

|  |
| --- |
| ２．コミュニケーション手段の特性（教P68-69） |

　☞コミュニケーションはどのように分類できるだろう

【TRY】①教科書を参考に、下のメディアをそれぞれの項目で分類してみよう。

　　　　二人の対話、新聞、ＴＶドラマ、ＴＶの生中継、Webサイト、電話、手紙

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 「1対1」か「1対多」か？ | 1対1 | 1対多 |
| 「一方向」か「双方向」か？ | 一方向 | 双方向 |
| 「同期」か「非同期」か？ | 同期（送信と受信が同時） | 非同期（送信と受信がずれる） |

|  |
| --- |
| 【知識の整理】 |
| 　①インターネット上でのコミュニケーションの特性 |
| 　　・（　　　　　）＝実名を公開せずに情報を書き込むことができる |
| 　　・（　　　　　）＝ＳＮＳを通じて情報が拡散しやすく削除も難しい |
| 　　・（　　　　　）＝マスメディアと異なり、信ぴょう性の確認を経ないまま発信されてしまう |
|  |
| 　②インターネット上のコミュニケーションの限界 |
| 　　・メラビアンの実験＝対面コミュニケーションではノンバーバルコミュニケーション（言葉以外 |
| 　　　　　↓　　　　　　の身振り、手振り、表情、声のトーン）からの情報が9割 |
| 　　　ネットでは感情が伝わりにくい！ |
| 　　　　→どう解決する？（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  |
|  |

|  |
| --- |
| ３．インターネットの発展（教P70-71）４．情報機器のパーソナル化とソーシャルメディア（教P72-73） |

　☞コミュニケーションはどのように分類できるだろう

【TRY】①昭和の家族（サザエさん一家、ちびまる子ちゃん一家）の暮らしと令和の暮らしを比較して

　　　　　違うところ（○○がない）を書き出してみよう。☞3つ以上

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
| 【知識の整理】 |
| 　①インターネットの歴史 |
| 　　起源：1969年（　ARPANET　）＝アメリカ国防総省の資金提供で構築されたネットワーク |
| 　　　　　　↓　世界中のネットワークが接続、メール・Webなど情報流通範囲が広がる |
| 　　21世紀：（ブロードバンド）の普及　→　情報の流通量も増大、動画など大容量データも流通 |
| 　　　　　　　（例）光ファイバ（FTTH）、ケーブルテレビ（CATV）、5G回線（4Gの10～200倍） |
|  |
| 　②インターネットと情報格差 |
| 　・（　　　　　　）＝情報通信を利用できる人とできない人との格差（例）年齢、国、都市と地方 |
|  |
| 　③情報機器のパーソナル化 |
| 　　昔は電話、テレビ、ステレオ、コンピュータは一家に1台（家族の共有物） |
| 　　　　→現在は？・・・スマートフォン1台で完結＝情報機器のパーソナル化 |
|  |
| 　④（　　　　　　　　　）＝人々が相互に情報を発信し、共有する双方向型サービス |
| 　　　　→リアルだけでなくネット上でも人のつながりが拡大　→社会への影響力が拡大 |
|  |
|  |

|  |
| --- |
| 【確認課題】調べよう・考えよう！ |

①コミュニケーションで、相手にうまく伝わらなかったり、上手に説明できなかったり、思い違いを

　したことはないだろうか？　自分や周りの経験を書いてください。

|  |
| --- |
|  |

②ネットでは「フェイクニュース」とよばれるうその情報が流れることも多い。

　コロナウィルスが流行したときや災害が起こった時に流れたフェィクニュースを調べてみよう。

|  |  |
| --- | --- |
| いつ？どんなとき？ | 流れた内容・ニュース |
|  |  |

③メディア・リテラシーについて次の言葉の意味を調べ、そういえばと思うことを書き出してみよう。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ことば | 意味 | 実際の例・経験（そういえば） |
| フィルターバブル |  |  |
| エコーチェンバー |  |  |

④ＳＮＳの多くは無料でサービスが提供されている。なぜ無料でサービスが提供できるのか、

どうやって収益を上げているか調べてみよう。

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
| 【振り返り】No.07の授業で学んだこと、気づいたこと、考えたことを箇条書きで書きましょう。 |

|  |
| --- |
|  |

　　☞箇条書きで3行以上かきましょう